

市議会

VOL.205

だより

Contents

特集	2
第3回定例会 議案の概要	4
一般質問	11
活動レポート	22
市民の声/次回定例会	23

特集

**世代を超えてみんなで取り組む
西高屋のにぎわいづくり**



鍋島議員、大下議員が聴く 世代を超えてみんなで取り組む 西高屋のにぎわいづくり

表紙写真／西高屋駅前でもちづくりを進める皆さん

JR西高屋駅前通りの空き家の増加や老朽化が進行する中、駅周辺の活力や魅力を高めようとする地域住民や地元事業者の方々が集まって設立したまちづくり会社である合同会社G11イレバンの皆さん、また、G11と連携して「学生と地域がつながる拠点づくり」に取り組む皆さんに話を伺いました。

プロフィール



近畿大学工学部建築学科
教授 市川 尚紀さん



合同会社G11
代表 菅井 晃彦さん



合同会社G11
副代表 木村 将希さん



合同会社G11
顧問 井上 泰秀さん



合同会社G11
役員 板垣 護さん



株式会社マエダハウジング
松本 和之さん



近畿大学工学部建築学科
五十嵐 千帆さん



近畿大学工学部建築学科
山崎 由佳さん

若い世代の「やってみたい！」を応援したい 人が繋がりに始動した新たなうねり。

Q まちづくり会社を設立した
きっかけを教えてください。

菅井 高屋が賑やかだった頃から、次第に寂しい雰囲気になっていく状況を見てきたので、「このままではいけない」と強い想いを抱いていました。その一、考えを共にする仲間たちが増え

ていき、市と近畿大学の* TOWN & GOWN 構想で取り組む

まちづくりプロジェクトなどへの本格的な参画も経て、今年6月にまちづくり組織として合同会社G11を設立しました。
Q 地域の魅力は何ですか。
市川 地域の特徴は若者がたく

さんいること。中高一貫の学校もあり電車で通う学生がこれだけ

ることは強みとして生かせるでしょう。現在、空き家をリノベーションして交流拠点づくりに取り組んでいます。最終的に地域や関わる人のここの暮らしが豊かになることが大切だと思います。

板垣 僕は空港から近いところ

で移住先を探していてなんとなくここに来たというのが最初ですが、今は高屋の人のつながりがすごく魅力的だと思っています。エントラメ作りを通じて、将来はクリ

五十嵐 参加してみようと思ったのは、「地域を良くしたい」という熱い大人が多いなど。私自身、高屋の未来を担っていると自覚するから言い過ぎかもしれませんが、未来に関わっているという意識が高まってきて、地域への愛着が湧いてきています。



- ① 取材風景
- ② ワークショップの様子
- ③ 第1回西高屋駅前 夏の学園祭
会場の外観（8月20日開催）
- ④ 夏の学園祭 eスポーツパブリックビューイング
- ⑤ 夏の学園祭 縁日の賑わい
- ⑥ 夏の学園祭 手作りポスター
- ⑦ 空き家のリノベーションの様子

エイティブなどに携わりたいと思っている学生に全国から集まってもらえるまちにしたいです。

Q 活動のやりがいを教えてください。

松本 僕が参加したきっかけは、勤めている会社の活動として地域貢献をできたらと市に相談したところ、皆さんの活動を紹介されて、本業のリノベーションを通してつながりをつくっていきます。みんなのアイデアが集まって色々なエネルギーが湧きます。大きなうねりになっています。

木村 8月には高屋を本拠地とするeスポーツチームのプロリーグ参戦の様子を応援するイベント「夏の学園祭」を学生運営で開催しました。「にぎわいが戻った」と地域の方も喜んでくださいました。

山崎 大学生がまた戻ってきたと思うことはすごく素敵。学生の意見を大人の皆さんが丁寧に聞いてくださるので、今後、後輩たちが活動に参加し、卒業後も戻ってくるような流れが

できたらいいなと思っています。

井上 私は住民自治協議会の副会長でもあります。活動の中で、若者の「親や祖父母世代とこんなにまちのことを話したことは今までありません」という言葉が印象に残っています。新しい動きは起爆剤になっていて、人間関係のリノベーションが起っています。今後、活動が壁に直面することもあるかもしれませんが、年寄りにできることはその壁を取り除いていくこと。しっかり応援していきたいです。

Q どんなまちにしていきたいですか。

菅井 大人がアイデアを用意するのではなく、若い世代のアイデアをどんどん形にしていけるような、高屋に来たら夢が叶うようなまちにしたいです。

市川 10年スパンの話で、この地域を「帰りたくなったときに帰れる場所」にできたらいいなと思います。とにかくゆっくり、少しずつじわじわと。今は種まきのタイミングです。

第3回定例会

(会期：令和6年8月30日～10月7日)

議決した案件

議案の内訳

10月7日に議決された案件は除きます。

●条例案…5件 ●予算案…4件 ●同意案…3件 ●諮問…3件

●その他…10件 ●委員会提出議案…2件 ●議員提出議案…1件 ●議長発議…1件

(●全会一致可決…26件 ●賛成多数可決…3件)



議案書、提出議案説明書など、本会議資料は、こちらのQRコードからご覧いただけます。

議案の審査経過

表決が分かれた案件の表決結果

議案番号 ▼	会派名	清新の会						創志会					市民クラブ				未来の風			公明党		創生会			真政倶楽部	日本共産党					
	議員名	上岡裕明	大下博隆	田坂武文	貞岩敬	北林光昭	重森佳代子	乗越耕司	上田秀	向井哲浩	中曾久勝	岡田育三	玉川雅彦	奥谷求	小池恵美子	落海直哉	景山浩	中川修	石原賢治	鍋島勢理	木村輝江	鈴木英士	下向智恵子	原田栄一	坂元百合子	片山真志	岩崎和仁	牧尾良一	山田学	宮川誠子	谷晴美
議案第98号		○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
委員会提出議案第6号		○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	×
議員提出議案第5号		退	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	

※「議」は議長「○」は賛成「×」は反対「欠」は欠席「退」は退席

【表決が分かれた議案名】

議案第98号 令和6年度東広島市一般会計補正予算（第3号）

委員会提出議案第6号 ユニバーサルデザインに配慮したトイレの環境整備に関する決議について

議員提出議案第5号 発達障がいに関する障がい福祉の充実に関する決議について

東広島運動公園体育館等の改修工事を行います

◎議案第88号

○請負契約の内容

建築一式工事

○工事の内容

【体育館】 鉄筋コンクリート造

一部鉄骨造 3階建て 延べ

面積 1万409平方メートル

【エネルギーセンター】 鉄筋コン

クリート造 2階建て 延べ

面積 546平方メートル

【駐輪場】 鉄骨造 平屋建て 延

べ面積 114平方メートル

○契約金額

4億3533万6000円

○契約の相手方

平原建設株式会社

○工期

議決のあった日の翌日から

令和8年3月31日まで

◎議案第89号

○請負契約の内容

電気設備の改修に係る工事一式

○工事の内容

電灯設備工事、受変電設備工事、

発電設備工事等

○契約金額

4億2515万円

○契約の相手方

日本電設工業株式会社 中国支

店

○工期

議決のあった日の翌日から

令和8年3月31日まで

◎議案第90号

○請負契約の内容

機械設備の改修に係る工事一式

○工事の内容

空気調和設備工事、換気設備工

事、衛生器具設備工事等

○契約金額

5億8960万円

○契約の相手方

ダン環境設備株式会社 東広島

営業所

○工期

議決のあった日の翌日から

令和8年3月31日まで

委員会での主な質疑

Q 空調設備は重油式から電気式に切り替えるとのことだが、どちらにコストメリットがあるのか。

A 重油代の代わりに電気代が増えるが、機器の省エネ化などにより、トータルではコストが下がることが見込まれる。

Q 体育館の床の材質にはどういった変化があるのか。

A 使用されるスポーツ団体の方々に対して行ったアンケート等によると、木質のクッション性も兼ね備えたものが一番いいという御意見が多数あったことから、これを踏まえた上でそのような材質のものを採用している。

〈議案第93号〉

東広島市高屋情報ラウンジの設置及び管理に関する条例を制定しました

○条例制定の理由

市民の交流の活性化を図るとともに、市民の学習ニーズに対応することにより、その教養・調査研究・レクリエーション等に資することを目的として、東広島市高屋情報ラウンジを設置し、その管理運営に関し必要な事項を定めるものです。

○条例の内容

位置 東広島市高屋町中島45番地5

施設

・交流センター

・東広島市立高屋図書館など

事業

・地域資源を活用した人の来館及び多様な交流の促進並びに地域住民の交流の場の創出に関すること。

・市民一人一人の関心及び学習に対する情報提供並びに学習活動の支援の促進に関すること。

・学習の成果を生かすための展示会、発表会等の開催及びその奨励に関すること。

・東広島市立図書館設置及び管理条例に規定する事業に関すること。

指定管理者による管理 高屋情報ラウンジの管理を指定管理者に行わせることができるものとします。

開館時間等 開館時間・休館日は次の表のとおりです。

施設		開館時間	休館日
交流センター		午前7時30分から午後8時まで	年中無休
図書館	図書スペース	午後0時から午後8時まで	・日曜日 ・祝日 ・12月29日から翌年の1月3日まで ・館内整理日 ・特別整理日
	フリースペース	24時間開館	年中無休

施行期日

令和7年5月31日まで

この間において教育委員会規則で定める日等

委員会での主な質疑

Q 図書館スペースの開館時間が12時～20時となっているが、なぜ12時からの開館としているのか。

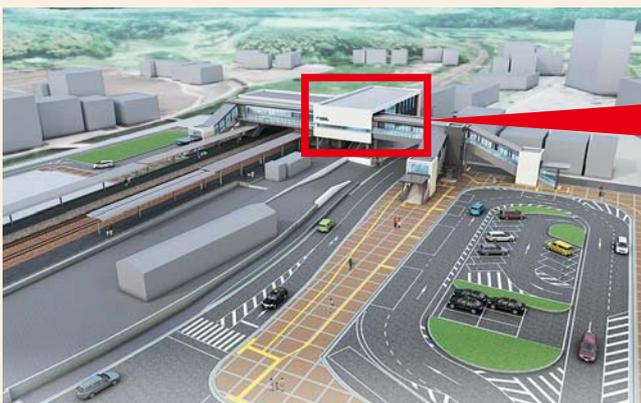
A 設置場所が駅舎内であることから、駅を利用される学生などの帰宅時間を考慮し、夕方に利用することができる時間帯として、この時間としている。

Q 図書館の蔵書に何らかの特色を出そうという意向はあるか。

A 西高屋の中高生を中心に42名に登録いただいている図書館サポーターと、この図書館の運営の委託を考えている図書館流通センターに協力いただいで選書していることと考えている。



【高屋情報ラウンジ外観イメージ】
交流センター（手前）・図書館（奥）



〈議案第98号〉

令和6年度一般会計補正予算(第3号)を可決しました

新規に開設する民間いきいき子どもクラブに対する支援、通学路となっている生活市道の整備、福富みらいベースの整備などに要する経費を追加するため、総額に13億7542万1千円を追加し、補正後の総額を1006億8835万2千円とする令和6年度一般会計補正予算(第3号)を可決しました。

補正予算(第3号) 補正額 13億7,542万1千円

主な内容

●新規民間いきいき子どもクラブ開設準備補助

- ・対象事業者：全4施設(定員約140人)
西条中央、西条西本町、西条昭和町、西条岡町
- ・開設時期：令和7年4月(予定)

5,040万円

●生活市道の整備

高屋西小学校の通学路である中島10号線に架かる橋が令和6年6月末の豪雨で被災したため、橋の復旧にあわせて通学路の改良を行い、通学環境の早期改善を図ります。

3,300万円

●福富みらいベースの整備

生活デザイン・工学研究所が進めている中山間地域における生活価値の創造に向けて、廃校となった学校を活用し福富地域の拠点施設を整備します。

600万円

委員会での主な自由討議

意見

福富みらいベースについて、実施設計が計上されているが、将来的には6億円の負担となる。
※トライアル・サウンディングなどの手法を検討していく必要があり、まだ検討が足りていない。

意見

あるものをいかに有効活用していくかという視点がなければ、本市の成長はない。単に地域の人たちが活用するだけでなく、企業を呼び込むといった今までにないチャレンジでいい取り組みだと思う。

本会議での討論

反対

福富の地域活性化のためには福富みらいベースの整備よりも農業問題に取り組むべきと考

え、反対する。

賛成

市民ニーズを受けとめた内容であると考え、賛成する。

反対

福富みらいベースには図書館の整備が盛り込まれているが、既に福富図書館があり、人口2,100人の町に2つの図書館が必要かは疑問である。検討が必要と考え、反対する。

賛成

本市の喫緊の課題である待機児童解消に向けた民間いきいき子どもクラブの新規開設への支援などを早期に実行する必要があると考え、賛成する。

賛成

中島10号線に架かる橋の復旧・通学環境の早期改善を図るべきものと考え、賛成する。

賛成

福富みらいベースの整備を行う生活デザイン・工学研究所の取組みは企業の成長を通して社会に貢献することを目的とするものであり、ぜひチャレンジしていただきたいという思いで賛成する。

〈議案第105号〉
御園宇小学校の増築及び
改修工事を行います

○請負契約の内容
建築一式工事

○工事の内容
校舎棟の増築、管理普通教室棟、特別教室棟の改修

○契約金額
18億2930万円

○契約の相手方
増岡組・西条電気特定建設工事
共同企業体

○工期
議決のあった日の翌日から
令和8年3月13日まで

委員会での質疑

Q 増築部分の工事面積が今の校舎と同程度の大きさになっているが、これまでどのような対応

をしたうえで、今回の増築となったのか。

A 現在、既存の10教室に加え、仮設の6教室で対応してきた。今後、児童数が700人を超える規模になることを想定しており、24教室でその規模に対応できると考えている。

Q 分離発注が原則だと思いが、一括発注となっているのはなぜか。

A これまで2回入札を行い、1回目は分離して発注したが、建築に応札者がおらず、入札不調となった。このため、2回目は市内業者を優先する考えで、2者による異業種※JVを可能としたうえで一括発注を行った。

〈委員会提出議案第7号〉
政府・国会に意見書を提出しました

地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるよう、さらなる少人数学級の実施、教職員定数の改善並びに義務教育費国庫負担制度の拡充を求める意見書を国会及び政府に提出しました。

意見書の全文

さらなる少人数学級の実施、教職員定数の改善並びに義務教育費国庫負担制度の拡充を求める意見書

令和3年3月に公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律（義務標準法）が改正され、公立小学校の学級編制標準が学年進行により段階的に35人に引き下げられ、令和7年度に完了する予定である。小学校だけでなく、中学校での35人学級の早期実施が必要であり、きめ細かな教育をするためにはさらなる学級編制標準の引き下げが不可欠である。

学校現場では、貧困、いじめ、不登校等、解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究及び授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況になっている。ゆたかな学び及び学校における働き方改革実現のためには、加配教員の増員、少数職種の配置増等、教職員の充足が不可欠である。

よって国会及び政府におかれては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を推進することができるよう、次項の措置を講じられるよう強く要請する。

- 1 中学校での35人学級を早期に実施すること。またさらなる少人数学級についても検討すること。
- 2 学校の働き方改革及び子どもたちのゆたかな学びを実現するため、加配教員の増員、少数職種の配置増等、教職員の充足を推進すること。
- 3 自治体で国の基準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配教員の削減は行わないこと。
- 4 新卒者の就業機会、教職員の年齢構成のバランス等を考慮し、すべての自治体で定年引上げ期間中に教職員の安定的な新規採用ができるよう、定数加配措置をはじめ処遇改善に必要な財政措置を講じること。
- 5 教育の機会均等並びに水準向上を図るため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の国負担割合を引き上げること。

〈委員会提出議案第6号〉

※ユニバーサルデザインに配慮したトイレの環境整備に関する決議

本市議会において実施した一般質問を政策提言に結び付ける取組みの結果、ユニバーサルデザインに配慮したトイレの環境整備に関する、行政の率先した取組み及び民間施設の整備に向けた助言等、並びにトイレの設備と位置に関する分かりやすい情報提供方法の実現について、執行部に求める必要があると認められたため、決議を行いました。

ユニバーサルデザインに配慮したトイレの環境整備に関する決議

高齢者、障がい者等の施設の利用上の利便性及び安全性の向上の促進を図り、公共の福祉の増進に資することを目的として、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」が平成18年に制定され、ハード・ソフト施策の充実や、高齢者・障がい者等を含む全ての人が暮らしやすいユニバーサル社会の実現を目指している。この法律の施行以降、高齢者・障がい者等を区別しない全ての人が利用可能な環境づくり（ユニバーサルデザイン）が求められるようになりつつある。

そして、令和3年3月には国土交通省において、「標準的なスペースでの対応が困難な重度の障害や介助者の利用を想定した整備を考慮すべき」という指針が示され、建築物のバリアフリー化の一層の推進のため、「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」が改正され、車椅子使用者用便房の大きさについて、重度の障がい者や介助者の利用を想定した見直しを行うこととしている。

このように、国においても、誰もが安心して快適に利用できる環境を実現するため、全ての人にとって使いやすい建築物の整備が図られるなど、様々な取組が進められているが、本市の現状は、多くの多目的トイレが重度の障がいのある方や介助者等にとって利用しやすいものとなっておらず、また、公共施設においてもユニバーサルシートや十分なスペースが確保されたトイレの数が少なく、当事者にとって安心して外出できる環境が十分に整っていないものと考えられる。

そのため、地域共生社会の実現を目指す本市において、まずは市が率先して市営の公共施設にユニバーサルデザインに配慮したトイレの環境整備に取り組むことに意義があり、各部署が連携してスピード感を持って進める必要がある。また公共施設だけでなく、市民にとって身近な生活圏内にある民間事業者の施設においてもユニバーサルデザインに配慮したトイレの環境整備が求められる。あわせて、トイレの設備や場所について、分かりやすい情報提供の実現が期待されている。

このことは障がいの有無に関わらず、子育てや介護をされている方、また、高齢の方など全ての人が安心して外出を楽しめるまちづくりにもつながる。そして東広島市内だけでなく、近隣市町からも「やさしいまち」として認識されることで、外出先として選ばれ、活気のあるまちの実現にも寄与するものと考えられる。

これらを踏まえ、本市議会は、次に掲げる事項について強く求めるものである。

- 1 今後新設する公共施設における多目的トイレに十分なスペースを確保すると共に、必要性や用途に応じてユニバーサルシート等を設置し、標準的なスペースでの対応が困難な重度の障がい者や介助者の利用を想定した整備を行うこと。
- 2 ユニバーサルデザインに配慮したトイレの環境整備に関する民間事業所等との勉強会の実施や、新設又は改修する際の助言、ノウハウの提供を行うこと。
- 3 公共施設と民間施設が有するトイレの設備情報と位置情報が、一目で把握できる分かりやすい情報提供方法を実現すること。

以上、決議する。

本会議での討論（一部）

賛成 多くの多目的トイレが重度の障がいのある方や介助者等にとって利用しやすいものとはなっておらず、また公共施設においてもユニバーサルシートや十分なスペースが確保されたトイレが少ないという課題があるため、ここで示されている3つの提案のとおり進めていくことが必要だと判断し、賛成する。

反対 一般質問において既に執行部から前向きな答弁がなされている。それをあえて議会全体での決議として出す必要性はないと判断し、反対する。

賛成 障がいをお持ちの方にとって使いやすいユニバーサルデザインに配慮されたトイレの重要性は非常に高いと思う。この整備に関しての3つの提言は、まさしく地域共生社会の実現に向けたものであり、本市における「ウェル・ビーイングの実現、やさしい未来都市東広島の実現に向けた大きなワンピースになるものと考え、賛成する。

発達障がいに関する障がい福祉の充実に関する決議

〈議員提出議案第5号〉

発達障がいの支援に関し課題があり、かつ、執行部に対し、それらの解決に向けた取組を求める必要があると認められるため、決議を行いました。

発達障がいに関する障がい福祉の充実に関する決議

発達障がいは、身近にありながら、外見からは分かりにくい障がいであることから、社会の中で十分に知られていない障がいであった。

しかし近年、発達障がいに関する情報が広く社会に知られるようになり、療育的支援などを早期に行うことで、社会への適応力を向上させていくことができることも認知されつつある。

文部科学省が令和4年に行った調査では、全国の小中学校の児童・生徒の8.8%が学習面又は行動面において著しい困難を示すとされており、福祉現場では10%程度に発達障がいの可能性があるのではないかとの声もある。

発達障がいに関する国の動向としては、平成17年に発達障害者支援法が施行され、発達障がいには、早期発見とその後の切れ目のない支援が重要であることが明確に示され、国及び地方公共団体の責務が明らかにされている。

また、令和6年7月には新たな児童発達支援ガイドラインが示され、障がいのある子どもやその家族に対して質の高い支援を提供することが求められている。

こうした状況は全国的な流れであるが、本市においても児童発達支援に係る扶助費が増加傾向を維持していることから、同様の傾向を示していると考えられる。

これらのことから、市、教育機関、福祉事業所などが緊密に連携し、一層の支援の質と量を向上させる取組が必要である。これらを踏まえ、本市議会は、次に掲げる事項について強く求めるものである。

- (1) 発達に課題のある子どもへの支援に関する統一的な方針の明確化
 発達に課題のある子どもたちへの支援の基本的な考え方について、過去の実績や数値など統計に基づき、社会資源や行政支援のあり方など目指すべき社会像を示した上で、統一した方針を示すこと。
- (2) 保育所巡回及び保育所等訪問支援の充実
 生活環境の変化に伴い、幼少期より保育所等に入所する児童が多くなっていることから保育施設等の役割は大きくなっている。保育所への巡回の頻度を増やすなどの取組の充実を図ること、保育所等訪問支援を充実させていくこと及び家庭への訪問支援を充実させることにより、一貫した療育に取り組むこと。
- (3) 市内の児童発達支援事業所との連携、協力体制の強化
 市内の発達支援事業所、障がい者支援事業所、就労支援体制のある事業所などより緊密な連携を図り、協力体制の強化確立に取り組むこと。
- (4) 児童発達支援に関する人材の確保、育成の充実
 発達に課題があると思われる児童は増加傾向にある中、本市においては、相談員、支援員など発達支援に関わる人材が不足していることから、児童発達支援に関わる人材の確保及び育成に取り組むこと。
- (5) 子育て支援施設での相談、当事者の療育体験や親子療育の充実
 本市では、発達に課題がある子どもたちの保護者等が自身でサービス計画（セルフプラン）を作っている状況があるが、より効果的な計画策定にするため、相談体制の整備、発達特性に沿った的確な支援、家庭での療育環境支援等、幼少期より療育に取り組むことが出来る環境、体制づくりを行うこと。
- (6) 発達支援事業所の充実
 発達に課題がある子どもの増加に伴い、相談事業所の数と質の確保が喫緊の課題となっている。これらが充実するよう取り組むこと。
- (7) 就労支援体制の確立
 支援が必要な方の*Well-beingのため就労支援体制を確立するよう取り組むこと。

以上、決議する。

本会議での討論（一部）

反対 所管する文教厚生委員会で権限のある所管事務調査などが行われず採決が行われたことは委員会としての責任が果たされていない。審査が不十分な案件を責任を持って決議をすることができないため、残念だが反対する。

賛成 議案となるまでの過程がベストではなかったかもしれないが、この決議の本質である全ての項目を市議会が中長期的な共通認識として持つべきと考え、賛成する。

反対 政策研究会で調査研究された結果を議員提出議案として提出されたが、本来は所管する常任委員会で研究結果をブラッシュアップして決議案を作成するべきである。また、決議の原則である全会一致を目指す努力をせず、委員会採決での可否同数を委員長判断で可決とするなど、常識的な議会運営からかけ離れていると考え、反対する。

賛成 未就学時期などの早い段階において、発達の課題等に対応することで、その子の学童期がより有意義なものになると考え、賛成する。

反対 この決議の趣旨自体は賛成だが、取組みの内容などにもう少し検討が必要と考え、反対する。

賛成 この決議の内容を議会が共有し、福祉分野を超え、社会全体の施策として広げていくことが大切だと思いい、賛成する。

*決議 21ページをご参照ください。

Well-being（ウェル・ビーイング）

9ページをご参照ください。



こいけ えみこ
小池 恵美子
(市民クラブ)

質問した項目

- ゼロカーボンシティ実現への施策について
- 有害鳥獣対策について

小池議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



公共施設などへの
※再エネ導入について

質問

災害時に外部電力が遮断された場合に備えて、防災拠点となる公共施設への太陽光発電パネルや蓄電池の備えは必須だと思う。設計段階から再エネ導入に対して考慮しておくことが重要だと思いが、現在、建設が予定されている公共施設への再エネと蓄電池の導入状況について伺う。

答 弁／前延副市長

新たに事業着手に至っている公共施設は9施設ある。それぞれの施設の設定目的や状況に応じ、利用者の利便性や管理コストなどを総合的に勘案しながら、本市の地球温暖化対策実行計画の基本方針

有害鳥獣捕獲班の
負担軽減について

質問

有害鳥獣捕獲班の方は高齢者も多く、このままでは捕獲に協力する人がいなくなるのではと危惧する。負担軽減のため、何らかの支援をすべきではないか。

答 弁／尾村産業部長

捕獲の負担軽減策として、IC T箱わな管理システムを令和3年度に本格導入し、今後も市内の箱わなすべてに計画的に配備していくこととしている。また、今年度から、捕獲時の止め刺し負担の軽減策として、各捕獲班へ電気やりの導入支援を行うこととしている。

※再エネ 再生可能エネルギーの略。太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなど、資源が枯渇することなく永続的に利用できる自然の力を利用して作るエネルギーのこと。



はらだ えいじ
原田 栄二
(公明党)

質問した項目

- 地域共生社会の実現について

原田議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



地域共生社会の
実現について

質問

視覚障がいのある方からの『外出に不安を感じる』等の困り事の相談を踏まえ次の点について伺う。

- ①誘導用ブロックのコントラストが無い箇所の修繕について本市の方針を伺う。
- ②本市における※エスコートゾーンの設置状況を伺う。
- ③道路横断支援として、光と音と振動で信号情報を知らせるLED付音響装置の設置や、スマホアプリ「※信GO!」の運用に取組んでいる旨導犬ふれあい学習の取り組みについて伺う。
- ④学校で行われている盲導犬ふれあい学習の取り組みについて伺う。
- ⑤視覚障がいのある方からは、生活する上で困りごとについてどのような相談や意見が寄せられているのか。

答 弁

高垣市長
細谷危機管理担当理事
藤原建設部長
片岡学校教育部長

※エスコートゾーン 横断歩道の中央に敷いた点字ブロックにより、視覚障害者の通行をサポートする路上設備。
信GO! スマホで音声・振動・画面表示による歩行者信号の情報(青信号、赤信号、青点滅)の確認や歩行者信号の押しボタンの操作などができるアプリ。警察庁が推進する高度化PICS(歩行者等支援情報通信システム)が設置された交差点で利用できる。



うえだ ひでし
上田 秀
(創志会)

市民の暮らしを守る 有害鳥獣対策について

質問

有害鳥獣対策の主なものとして、「隠れ場所を作らない」、「エサを置かない」、「適正な防護柵を整備する」の三点が示されているが、

農作物被害が格段に減少していないのは事実であり、新たな対策としてイヌを活用した追い払いを導入できないか。イノシシ、鹿はジビエとして産業展開されているので捕獲と狩猟に悪影響を与えないこと、地域の理解を十分に得ることが重要だが、他団体等での成功例もあり、検討してはどうか。

答 弁／尾村産業部長

イヌを使った追い払いについては過去に検討しているが、誰が飼う

質問した項目

- 市民の暮らしを守る有害鳥獣対策について
- 西条第二地区のまちづくりと黒瀬川の整備について



上田議員の
一般質問
全編映像は
こちらから

のか、誰が訓練するのかなど解決すべき課題が多いことから、導入に至っていない。一方で、他自治体では支援事例もあり、引き続き調査・研究していきたい。

西条第二地区の まちづくりについて

質問

西条第二地区のまちづくり事業において、事業完了予定時期と進捗率について伺う。

答 弁／台信都市部長

これまでの宅地化の状況を踏まえると、令和20年代後半には地区内の土地利用が促進され、まちづくりがほぼ概成されると見込んでおり、現在の進捗率をいわゆる宅地化率で捉えると、令和5年度末時点で概ね70%となっている。



なべしま せり
鍋島 勢理
(未来の風)

「望まない孤独」に 寄り添う体制を

質問

国内の自殺者数は2019年において2万169人で、過去最多となった2003年と比較し、約1万5千人減少している。一方で、小中高生の自殺者数は2022年に初めて500人を超え、統計開始以来最多の514人となった。少子化が進み、出生数が減少しているにもかかわらず、こどもの自殺は増加の一途を辿っている。本市でも20歳未満の自殺死亡率が全国と比較して上回っており、憂慮すべき状況である。

親や先生に心配をかけたくないなどという思いから悩みを打ち明けられない人も多いと思われることから、頼りたくても頼れない人が確実にアクセスできる仕組みが

質問した項目

- 「望まない孤独」対策について
- 人口減少と多様化する社会における教育機会の保障について
- 今後の高齢者入所施設の確保の在り方について



鍋島議員の
一般質問
全編映像は
こちらから

重要である。相談窓口が一つの受け皿になると考えますが、現状やニーズに対応した相談サービスの拡充を検討しているか伺う。

答 弁／福光健康福祉部長

現在は、限られた時間の電話や対面相談を中心とした支援のみで、十分とは言えない状況にあると認識している。

若い世代は文字で自分の考えを整理しながら伝えられることなどから、チャット等を活用した相談が有効な手段の一つだと捉えており、既に実施している他市の状況を調査・研究していく。

若い世代も含め市民の多様な相談ニーズに対応できる体制を整備できるよう努める。



しもむかい ちえこ
下向 智恵子
(公明党)

質問した項目

- 高齢者の相談支援について
- 不登校への対応について



下向議員の
一般質問
全編映像は
こちらから

高齢者の「終活相談支援の充実」について

質問

自身の最期に不安を抱えている高齢者は多くおられると認識している。死後の手続きや遺品整理、相続登記といった、自身の死後に関する事務処理等の全般的な相談ができる終活相談センターを設置する自治体が増えている。本市においても終活相談センターの設置が必要と考えるが、見解を伺う。

答 弁／福光健康福祉部長

地域包括支援センターや※権利擁護ステーション、高齢者等終身サポート事業者等の活動状況や、他市町の動向も参酌しつつ、必要な機能や適切なサービスのあり方について検討する。

不登校児童生徒の「居場所づくり」について

質問

学びたいと思ったときに学べる環境や自分のペースで過ごせる居場所、小さな心のSOSを見逃さない相談体制を整えるために、フリースクールはその一端を担うと考える。不登校児童生徒に対するフリースクール等の利用支援補助金等の導入について見解を伺う。

答 弁／市場教育長

公的支援としての※SSRなどの居場所づくりや不登校等児童生徒への支援者の拡充を優先し、必要な支援を行っているところである。フリースクール利用支援補助金等については、引き続き研究していく。

※権利擁護ステーション 東広島市内の医療・介護・児童・成年後見制度等を業務とする機関を支え、権利擁護支援のための連携や対応強化を目指す専門機関。

SSR スペシャルサポートルームの略で、不登校等児童生徒の校内の居場所としての校内適応指導教室のこと。



きむら てるえ
木村 輝江
(未来の風)

質問した項目

- 安心して産み育てられる環境づくりについて
- 高屋情報ラウンジについて



木村議員の
一般質問
全編映像は
こちらから

産科が減った東広島市でお産ができるの？

質問

東広島市の分娩取扱施設は、東広島医療センターと民間クリニックの2カ所のみである。そのため「近隣市町の産科へ時間をかけて通院している」、「里帰り出産をしても産科がないから諦めている」などといった声があるが、現在の分娩取扱施設で対応できているのか？

答 弁／高垣市長

本市では、里帰り出産も含め、市内の分娩取扱施設での年間の分娩件数を約1,200件程度と見込んでおり、今年度より、広島大学から東広島医療センターに産科医を1名増員して配置いただき、

産科が減った東広島市でお産ができるの？

質問

体制を拡充した。本年度の4月から7月の4カ月間の分娩件数は2施設で373件とほぼ想定したとおりの状況であり、そのうち里帰り出産も80件の実績があることから、市内の2施設で年間分娩件数に対応できるものと見込んでいる。

開業依頼はうまくいっているの？

質問

開業予定の小児科医師がいる場合には本市での開業を依頼するなどの働きかけを行っているとのことだが、具体的な動きはあるのか？

答 弁／福光健康福祉部長

令和8年春に小児科クリニックが開業される予定である。今後広島大学、医師会と連携を密にして小児医療の充実に取り組む。



さかもと ゆりこ
坂元 百合子
(公明党)

質問した項目

- 障がい児保育に必要な保育士の加配について東広島市の現状と課題について
- こども・子育て政策について
- 労働者協同組合法の積極的な活用について

坂元議員の一般質問全編映像はコチラから



持続可能なまちづくりに向けて

質問

労働者協同組合法の施行に伴い、協同労働という働き方が注目されはじめています。市民の多様な働き方の促進のみならず、持続可能なまちづくりに向けて、地域課題の解決にもつながっていくものであります。本市のまちづくり、地域づくりのために、協同労働の促進を前向きに検討すべきと考える。市の見解を伺う。

答 弁／高垣市長

労働者協同組合法は、労働者自ら組合員として出資し、従事することを基本原理とする労働者協同組合の設立や運営、管理が可能となるよう定められたものであり、

全国的に協同労働の取組みが進みつつある。協同労働の先進地である広島市では、移動支援を伴う地域の支え合い活動や、子どもを対象とするスポーツレクリエーションクラブ、耕作放棄地の整備、フリーマーケットの運営など、福祉や地域振興の分野に留まらず、多種多様の取組みが協同労働により営まれている。本市においても、地域の支え合い活動や地域食堂など、様々な取組みが行われており、こうした活動を、協同労働により行っていくことも有効であると認識している。一方で、協同労働の仕組みは、本市では十分に認知されていないことから、本制度の周知が重要であると考えている。先進事例の取組みを参考にしつつ、本市における協同労働の促進方策全般について検討していく。



おちうみ なおや
落海 直哉
(市民クラブ)

質問した項目

- 小・中学校のプール授業の在り方について
- 本市のDXの現在地について2

落海議員の一般質問全編映像はコチラから



プール授業の安全対策について考えを伺う

質問

1950年代から1960年代にかけて、夏場の水難事故が多発したことを受け、学校教育において水泳を必須科目とすることで、子どもたちの命を守るための教育が行われるようになったと聞かれますが、近年もプール授業中の事故が起きている。命を守るための教育のほが、命を失ってしまうことがあってはならない。プール授業で児童生徒全員の安全を確保するために、教員だけでなく、学校関係者や児童生徒、保護者も含めて協力し、多面的な対策を実施することが、事故を未然に防ぐための鍵となると考えるが、プール授業の安全対策について市の考えを伺う。

答 弁／市場教育長

水泳は、水中での運動であるため、陸上の運動以上に安全対策の徹底が求められる。そのため各校では、監視体制を確実に確保することができるよう、必ず複数の教員を配置し、指導を行う教員と監視を行う教員に分かれて、児童の異変に気付くことができるようにし、それに加え、必要に応じてスクールサポーターとして退職教員等を派遣し、重層的に監視できるようにする体制を整えている。また、万が一の事態に備え、心肺蘇生や*

答 弁／市場教育長

※ A E D Automated External Defibrillatorの略で、自動体外式除細動器のこと。心室細動と呼ばれる不整脈によってポンプとしての機能がなくなってしまった心臓に電気ショックを与えることにより、元の収縮を取り戻させるための機器。

※ A E D Automated External Defibrillatorの略で、自動体外式除細動器のこと。心室細動と呼ばれる不整脈によってポンプとしての機能がなくなってしまった心臓に電気ショックを与えることにより、元の収縮を取り戻させるための機器。



おおした ひろたか
大下 博隆
(清新の会)

質問した項目

- 東広島市消防団について
- 黒瀬生涯学習センターについて
- 子育て政策について

大下議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



消防団における外国人
機能別団員を求める！

質問

外国人が多く暮らす本市において、災害時の情報伝達、避難誘導の面から外国人の機能別団員制度が有効であると思うが、市の考えを伺う。

答 弁／高垣市長

今後、国が「外国人の消防団員が従事できる任務を明確化した指針」を策定する予定である。その指針に従い、団員確保、地域防災力の強化に取り組んでいく。

黒瀬生涯学習センター
長寿命化改修について

質問

黒瀬生涯学習センターの大規模

改修工事の主な内容を伺う。また、駐車場等の敷地を利用したイベントも多く開催されているが、施設設置時から30年が経過し、顕在化した問題や利用ニーズがあると感じる。その点について市の考えを伺う。

答 弁／伊藤生涯学習部長

防水改修や劣化部分の補修、トイレの改修、せせらぎホール及びイベントホールの音響などを予定しており、令和7年8月から約12か月間の休館を予定している。見えてきた問題として駐車場から施設へ向かう導線や駐車場の配置、バリアフリー化などがあるため改善していきたい。ハード面のほか、施設予約システムの導入などソフト面の改善も検討し、利用しやすい環境となるよう取り組んでいく。



すずき えいじ
鈴木 英士
(未来の風)

質問した項目

- 教育施策について
- 市民協働のまちづくりについて

鈴木議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



校則の見直しについて
教員の働き方改革について

質問

生徒指導の在り方及び校則の見直しに関するガイドラインでは、校則の見直しには児童生徒の主体的な考えを反映させること等が含まれているが、どの程度達成出来ているか伺う。

答 弁／市場教育長

全小中学校で、児童生徒の発達段階、学校や地域の状況、時代の変化などを踏まえ、校則の見直しに取り組んだ。中学校では、生徒が主体的に考える機会を設けている一方で、小学校では、その機会が十分に設けられていないため、

今後は、例えば保護者アンケートの実施や児童会を巻き込んだ取組みが行われるよう学校を支援する。

質問

全国的な教員不足の現状を踏まえ、人員以外の対応策も検討する必要がある。ICTの活用、授業数の平準化、業務の外部委託、学校行事の見直し等を行うことで、教員の負担軽減を図ってはどうか。

答 弁／市場教育長

さらなる教員の働き方改革に向けて、ICT利活用の普及や、夏季休業期間の短縮による授業数の平準化の本格実施、地域や企業、外部人材の協力による取組みなどを進めるとともに、学校行事の実施においては、業務改善に効果のある取組みを全小中学校に周知していく。



やまだ まなぶ
山田 学
(真政倶楽部)

質問した項目

- 食育の取り組みについて
- 西条酒蔵通り地区の「伝統的建造物群保存地区」の保全活動について

山田議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



食品添加物について
学べる講演会の開催を！

質問

加工食品の裏面表示において、原材料名にある「／」以降は食品添加物である。厚労省は、加工食品にどの添加物が含まれているのかを消費者自身で判断できるように、『用途名併記』を義務付けているが、こうした情報を知る市民は少ない。外部講師を招いて食に関する講演会を開催できないか。

答 弁／福光健康福祉部長

食や栄養に知見がある東広島地域活動栄養士会や広島国際大学などと連携を図りながら、市民が食と健康への意識や理解を深めていただけるような講演会を開催していく。

歴史ある酒蔵の景観を
次世代に繋ぐには

質問

西条酒蔵通り地区の町並みを未来に継承していくために、「※伝統的建造物群保存地区制度」を導入し、保護・活用していく取組みを行っているが、その進捗状況と令和4年度から取り組んでいる住民説明会の評価と課題について伺う。

答 弁／高垣市長

住民、地権者に対し6回の説明会を開催した。酒蔵地区の修景整備のため、大正・昭和前期の洋風建築等を活用すべきという声がある一方、高齢者世帯や空き家所有者からは建物の維持や防災についての不安の声も寄せられている。引き続き丁寧に対応していく。

※伝統的建造物群保存地区制度

主に、伝統的建造物群の外観における位置や規模、形態や意匠、また色彩等の特性を、その周囲の環境と併せて保存することを目的とした制度。



かげやま ひろし
景山 浩
(市民クラブ)

質問した項目

- 第五次東広島市総合計画の推進について
- 第五次東広島市総合計画推進に向けての組織体制整備について

景山議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



第五次東広島市総合計画
の推進について

質問

①包括的な課題ごとに関係者が協働して施策を進めるために、中央生涯学習センター跡地を活用する考えはあるか。②防災の新たな考え「※フェーズフリー」を取り入れることについて市の考えを伺う。

答 弁／高垣市長
細谷危機管理担当理事

①新施設建設については、中期の財政と社会情勢の変化の見通しを踏まえ、国等の財政支援を活用し、様々な社会課題に包括的に対応できる施設の整備を検討していく。②フェーズフリー防災の概念について職員の研さんを深めるとともに、普及促進していきたい。修の実施を検討していく。

総合計画推進のための
組織体制について

質問

①市の組織名称を従来の部課制に戻し、政策ごとに配置すべきと考えるかどうか。②本市における※カスタマーハラスメントの現状認識と対策について伺う。

答 弁／鈴木総務部長

①事業推進のために最適な組織体制を目指すとともに、所管事業や連携状況を踏まえて適正な配置を行う。②職員アンケートの結果、本市でもカスタマーハラスメントがある実態が明らかとなっている。組織的な対応方針の策定や職員のプライバシー保護等を実施するとともに、組織的対応についての研

※フェーズフリー 身のまわりにあるモノやサービスを、日常時だけでなく非常時にも役立つようにデザインしようという考え方。
カスタマーハラスメント 顧客等からのクレーム・言動のうち、要求の内容の妥当性に照らして、その要求を実現するための手段・様態が社会通念上不相応なものであって、それにより労働者の就業環境が害されるもの。



むかい てつひろ
向井 哲浩
(創志会)

質問した項目
■農業に希望を取り戻すために…
甞れわがまちの農地！

向井議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



農業に希望を 取り戻すために

質問

古くから県内有数の穀倉地帯として知られる本市にとって、農業は根源的な営みである。再び活性化するためには、課題である遊休農地、荒廃農地、耕作放棄地の活用が重要であると考え、次の点について伺う。

①本市における農地の現状をどのように把握しているのか。
②静岡市が農地集約や企業用地の創出に取り組む新たな法人を立ち上げ、農業の効率化を図るとともに、耕作放棄地を含む開発可能な未利用・低利用地を集約することで、企業立地の用地として有効活用する取組みを始めている。本市においても点在する遊休農地・

耕作放棄地等を集約して企業を呼び込むことができないか。

答 弁／川口副市長

①令和5年度の調査結果では、全体の農地面積8,670haのうち耕作地の割合が77%、不作付地が20%、遊休農地が1%、非農地が2%と、23%が耕作されていない状況である。

②新たなまちづくりの推進のため、今年度から部局横断的な組織として次世代学園都市構想推進プロジェクトチームを立ち上げた。これを契機として、必要な農地は守りながら企業ニーズを踏まえた産業用地の確保を推進するなど、より一層有効な土地利用を推し進めていくため、静岡市の事例も含め様々な手法を検討していく必要があると認識している。



うえおか ひろあき
上岡 裕明
(清新の会)

質問した項目
■人口減少地域の活性化に向けて

上岡議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



周辺地域の活性化を 支えるサポート策とは

質問

安芸津町では、民間により無人島教育事業の拠点が新たに設置されるなど、特性を活かしたまちづくりが行われている。こうした取り組みを増やすためには、地域の主体性を高めるような基盤づくりが必要であり、担い手となる人材を確保・育成することが非常に重要だと思ふ。地域主体のまちづくりをさらに推進するため、行政としてどのような支援が可能か伺う。

安芸津町では、まちづくりに取り組む関係団体に呼びかけを行い、安芸津地域拠点性再生会議を発足した。この会議を通じて、地域の

将来像を描きつつ、活動のPRも進めていく。また、補助金等の支援メニューや各種セミナー等により、人材の確保・育成、体制強化を支援しており、今後工夫しながら積極的に支援していく。

集落支援員の 今後の役割について

質問

集落支援員の業務内容について、空き家情報の収集や空き家バンクの利用促進など、役割に方向性を持たせることが効果的ではないかと考えるが、市の見解を伺う。

答 弁／高垣市長

移住や空き家対策を含め、住民自治協議会と議論を重ね、地域にとって望ましい姿を共に追求できるように、調整を進めていく。

答 弁／高垣市長



たまがわ まきひこ
玉川 雅彦
(創志会)

質問した項目

- 本市の農業施策について
- 本市における食品ロスについて

玉川議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



農業の未来を描く地域
計画をどう策定？

質問

農家の高齢化が進み、担い手不足等の問題が山積し、農業の衰退も懸念されている。そうした中、AIを活用したスマート農業の取組みも加速化しており、一定の規模の農家であれば今後有用になり得るとの見立てもある。農業従事者にとつて、農業機械はなくてはならない物であるが、高額化している。農業を将来にわたり希望の持てるものにするために、どのような対応を考えているのか伺う。

答 弁／高垣市長

集落法人等を対象として、農業活動の持続と経営の安定化を促進するため、スマート農業技術の導

入を支援している。農地の維持管理や作業効率の向上に一定の効果があり、引き続き支援していく。

本市における食品ロス
について

質問

廃棄される食べ物、小売店での売れ残りや飲食店での食べ残しなど事業者から出るものと、賞味期限切れ等による廃棄物で家庭から出るものがあるが、本市における食品ロスの現状と課題について伺う。

答 弁／中村生活環境部長

「東広島食品ロスゼロ運動」による啓発効果もあり、手つかず食品や食べ残し食品は減少傾向にあるが、ゼロにはなっていない。引き続き普及・啓発に取り組む。



おかだ いくそう
岡田 育三
(創志会)

質問した項目

- 地域交通における「担い手」「移動手段」不足解消への対応について
- 子育て施策について
- 市民等からの要望と国・県への提案事項について
- 若者の定住促進対策について

岡田議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



寺西保育所の更新
(建替え) について

質問

築50年を超え、老朽化した寺西保育所は、保護者や現場から早期建替えの要望の声があるが、市としての認識と移転（建替え）も見据えた今後の見通しについて伺う。

答 弁／中村こども未来部長

寺西保育所は、他の市内公立保育施設に比べ、建築年も古く、老朽化と経年劣化が深刻であり、児童の安全面から、できるだけ早期に施設更新を実施する必要があると認識している。複数の移転建替候補地について比較検討を進めており、選定後は速やかな用地取得と施設建設により、可能な限り早く、安全で快適な保育環境を提

都市計画道路である吉
行泉線の進捗状況は？

質問

都市計画道路の吉行泉線は本年度に2工区が完成予定と聞くが、JRとの協議を含めた今後の開通の見通しについて伺う。

答 弁／台信都市部長

2工区は今年度、消防署跡地前の交差点から本通り線までの道路改良工事を発注し、令和7年度末の完成を予定している。また、今年度から3工区的设计内容や事業の進め方について、JR西日本との事前協議を開始しており、今後の本市の財政状況を勘案しつつ、事業着手時期を判断していく。



みやかわ やすこ
宮川 誠子
(真政倶楽部)

質問した項目

■本市の進むべき方向性について

宮川議員の一般質問全編映像はコチラから



SDGs、脱炭素—本市の進むべき方向は？

質問

現在日本では、大規模太陽光発電施設（メガソーラー）が、鳥獣保護区や国立公園などに設置されており、大切に守ってきた自然環境を破壊している。

また、保水力のある森を伐採して太陽光パネルを設置したため、雨水が流出し、各地で土砂災害が発生している。さらに再エネの電力買取は消費者の電気代に乗せられており、電気代が高騰している。そして儲けているのは主に中国資本である。

私は、「地球温暖化の二酸化炭素犯人説」やそれにつながるSDGsを信じていない。なぜならマスメディアがキャンペーンを張る

時は裏に目的があるからだ。「環境」というキレイな言葉にくるみながら、本質は「金儲け」であることは世界の常識だが、日本は真面目にやってみない、自然を破壊している。それでもSDGsを本市の取り組み根幹の政策とするのか。

また、半導体にしても、お金が地元に残るのでなければ、外資に利用されるだけだ。考えを伺う。

答 弁 / 高垣市長

SDGsや脱炭素など地球規模の視野で検討し、地域の課題解決や経済に結び付けるのがTown & Gownの取組みである。経済活動では、外部資金を獲得しながら、それを内部で留保し、地域内で経済を循環させることが重要である。大学と企業とも連携し、持続可能な地域を実現したい。

※Town&Gown 欧米の大学立地都市を参考に、タウン（街）とガウン（学生や教授たち）とが一体となったまちづくりを目指すため、大学と東広島市が連携を図りながら、持続可能で魅力的なまちづくりを進める取組み。



しげもり かよこ
重森 佳代子
(清新の会)

質問した項目

■次世代学園都市構想を探る
■地域センターの運営について

重森議員の一般質問全編映像はコチラから



仮説の学園都市構想 実現に向け市民理解を

質問

①次世代学園都市構想は、事業開始から3年が経過しても、市民理解が十分とはいえず、*コンソーシアム内部での決定による事業進行のため、議会もプロセスを把握しづらい状況である。市民理解の促進と事業の透明性について問う。

②今後のインフラ整備等、市の財政負担をどう算定しているのか。

答 弁 / 高垣市長 / 川口副市長

①市として全体像をきっちり説明し、市民の理解を得ながら進めていく。

②先進的な取組みであり、一定のリスクを伴う可能性があるため、

地域センター職員報酬アップは、市の負担で

質問

地域センター職員の処遇について、市直営の職員に準じて指定管理者の職員に給与等の増額を行う場合、既定の指定管理料の中で対応を求めているが、自治協の裁量によって、報酬格差が生じる可能性がある。給与等の上昇分は指定管理料の補正が必要ではないか。

答 弁 / 惣引地域振興部長

人件費の引上げは、まずは既定の指定管理料で対応いただく。賃金水準の変動等で当初合意の額が不適当となる場合、両者が協議し、必要と認められれば増額変更する。

*コンソーシアム

広島大学スマートシティ共創コンソーシアムのこと。東広島市、広島大学と賛同企業が参画し設立した共同事業体。民間企業と行政が連携しながら、広島大学東広島キャンパス及びその周辺エリアにおいて、スマートシティの形成につながる活動を行い、その成果を周辺地域に社会実装することでイノベーションを創出することを目的としている。



なかがわ おさむ
中川 修
(市民クラブ)

質問した項目

- 安全・安心な市民生活の実現について
- 望まない受動喫煙防止の推進について

中川議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



望まない受動喫煙防止の推進について

質問

総務省から各都道府県知事経由で各市町村へ「地方たばこ税の安定的な確保と望まない受動喫煙対策の推進のための分煙施設の整備促進について」という通知が出されていると思うが、本市の対応について問う。

答 弁／高垣市長

分煙施設の設置により、一定の受動喫煙防止効果があるが、仮に人通りの多い受動喫煙防止区域の周辺に分煙施設が設置されると、喫煙者が多く集まることが想定され、分煙施設に入りする喫煙者の衣服や髪の毛に付着した煙や肺に残った呼出煙により、近くを通

安全・安心な市民生活の実現について

質問

行する人が受動喫煙する恐れが否めないことから、分煙施設の整備については慎重に検討していく。
信号機のない横断歩道を渡る歩行者の安全対策について、昨年「※ぴかっとわたるくん」を紹介したが、検討経過について問う。

答 弁／細谷危機管理担当理事

現在、設置場所について死亡事故や交通事故が多発している横断歩道、通学路、車両交通量や歩行者数の多い場所、信号機の設置要望が叶わない未設置場所など、様々な条件の整理を行い、設置の検討を進めている段階である。

※ぴかっとわたるくん 信号機のない横断歩道に設置し、横断する際にボタンを押すとLEDが点滅して横断者の存在を車両に知らせ、歩行者の安全を守る装置。



かたやま たかし
片山 貴志
(創生会)

質問した項目

- 予算編成の方向性について
- コンベンションホール及び宿泊施設の整備について

片山議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



※財政調整基金のあり方について

質問

本市の財政状況は類似団体や県内他市町に比べ、概ね良好である。また、財政調整基金についても、令和4年度決算における人口一人当たりの金額は、類似団体に比べ2倍程度ある。有利な財源の活用や、災害復旧の優先などで増えていると思われるが、税収が市民サービスに還元されていないともとれる。財政調整基金の目的と方向性について問う。

答 弁／高垣市長

財政調整基金は、災害や社会経済情勢等の急激な変化など、多額の財源を要する局面において貴重なものである。不測の事態に備え

未来への投資による魅力ある街づくりを！

質問

ながらも、多様な市民ニーズや行政課題等に対し、適宜適切に機動的な対応を図ることを念頭に、基金の積立と活用のバランスを見極めていく。
公共施設の大規模改修などの課題を抱える中、積極的な予算措置を行うことが市民サービスの充実につながるものと考えている。令和7年度予算編成への意気込みを問う。

答 弁／高垣市長

今後策定する中期財政運営方針を踏まえながら、市民サービスの充実やさらなる成長のための積極的な予算編成を行っていく。

※財政調整基金 地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するための基金。経済事情の著しい変動で財源が不足する場合や、災害、急を要する大規模な建設事業の経費、その他やむを得ない理由により生じた経費などの財源として活用される。



いわさき 岩崎 和仁
(創生会)

質問した項目

- 農業政策について
- やさしい未来都市の実現について
- 漁業振興・危機管理について

岩崎議員の
一般質問
全編映像は
こちらから



あきつ地域でぶどうの産地化を目指す！

質問

シャインマスカット誕生の地あきつ地域でぶどうの産地化を目指すべきと考えるが市の所見を伺う。

答 弁／高垣市長

あきつ地域はシャインマスカットをはじめ、新たな品種の発祥の地であり、ぶどうの産地化やブランド化を図るうえで高いポテンシャルがあるものと認識している。農地の候補地選定を図るとともに、あきつ地域のぶどう産地化をミッションとする地域おこし協力隊の配置など、農業の担い手確保と人口減少地域の活性化のための手法を検討していきたい。

子育て支援のため市役所北館の早期整備を！

質問

新施設における整備方針には、子育て支援機能、防災機能等が示されている。子育て支援機能には、他と連携した発達に関する専門的な相談支援機能の集積も必要であると考える。また広域的な災害が想定される中、災害対応と通常業務を円滑に進めることが求められている。これらは喫緊の課題であり早期整備が必要と考えるが市の所見を伺う。

答 弁／川口副市長

新施設の整備は大規模プロジェクトとなるため、整備時期は、中長期的な行財政運営の見通しを立て、判断する必要があると考える。

議決・決議とは？ 意見書とは？

議決とは、議会に提出された議案などについて採決を行い、*合議体としての議会の意思を決定することです。

議案の内容によって様々な種類があり、可決・否決（予算、条例、決議など）、承認（専決処分など）、その他（許可、同意、認定、採択など）があります。

決議とは、議決の対象となるもののひとつで、議会が自ら行う事実上の意思形成行為です。多くは法令の規定に基づかない意思決定（要望決議、議員辞職勧告決議など）に使用されますが、市長の不信任決議（自治法178条）、100条調査など、法的効果が与えられるものもあります。9、10ページに、令和6年第3回定例会で可決された決議を掲載しています。

意見書とは、地方公共団体の公益に関することに関し、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。国会または関係行政庁に提出することができます。（自治法99条）令和6年中には、次の意見書を国会等へ送っています。

- 有機フッ素化合物に関する対策を求める意見書
- 地方財政の充実・強化に関する意見書
- さらなる少人数学級の実施、教職員定数の改善並びに義務教育費国庫負担制度の拡充を求める意見書
(8ページ参照)

*合議体 複数人の意思を総合して、意思決定を行う組織体のことで、議会は「合議制」の議事機関です。これに対して、市長は一人で意思決定できるので「独任制」の執行機関です。

ACTIVITY REPORT

東広島市議会活動レポート

文教厚生委員会行政視察

- ◆視察日：令和6年7月24日～26日
- ◆視察先：福岡県大牟田市、西南学院大学非常勤講師木山氏、三重県松阪市

「地域共生社会の実現について」をテーマに、福岡県大牟田市では包括的な支援体制の構築を支援するための多機関協働事業について、木山先生からは社会福祉協議会等との連携及び協働のあるべき姿の考察などについて、松阪市では健康と福祉の身近な相談窓口である福祉まると相談室等について聴き取りました。



市民経済委員会行政視察

- ◆視察日：令和6年7月3日～5日
- ◆視察先：大分県大分市、大分県宇佐市、大分県豊後高田市

「移住・定住促進の取組みについて」をテーマに、「住みたい田舎」ベストランキングにおいて上位の自治体等を選定しつつ、同一県内の移住・定住促進の取組み状況、その取組みの影響等を参考とすることを目的とし、大分県内の3市を視察しました。



建設委員会行政視察

- ◆視察日：令和6年7月24日～26日
- ◆視察先：茨城県庁、岩手県庁、株式会社小田島組

ICTの利活用における人材確保・育成、関係機関との連携や、行政からの情報発信、小規模工事での活用の可能性等について調査研究するため、「建設工事におけるICTの利活用について」をテーマに、先進自治体及び若年層や女性の建設人材の確保・育成等に積極的に取り組まれている企業を視察しました。



「議員のコンプライアンス」をテーマに 議員研修を実施しました

令和6年8月22日、元・都道府県議会議長会事務局次長で、現在は全国各地で議会運営や政務活動費等についてご指導されている内田一夫氏を講師にお招きし、議員に求められているコンプライアンスや政務活動費の適正な支出について講演をいただきました。

議員として「やってはいけないこと」だけでなく、「やるべきこと」が何かを再認識し、また、政務活動費について、趣旨に沿った住民福祉の増進を図るための活用手法を学びました。



行政視察報告書はコチラから



33歳、地域活動を始めました

なかそ しゅうへい
中曾 修平 (八本松町)

私は自分の住んでいる地域がより住みやすい街になって欲しいという思いから、今年度より住民自治協議会の文化部会、おやじの会、消防団等の地域活動に参加し、ふるさと文化祭の運営、HPの作成、小学校の環境整備や備品の修繕等、消防訓練の参加や夏祭りで行われた打ち上げ花火での警備に携わっています。今までこの街で育つ中、何気なく享受してきた事が、多くの方々の支えによって成り立っていることに改めて気づかされました。

そして住みやすいだけの街よりも、大人も子どもも、ここが好きだと自慢できる素敵な街を目指したいと思うようになりました。

最後に、こういう活動は私の年代の参加が少ないので、もっと増えていく事を期待しています。一緒に盛り上げていきましょう！

市民の声

「The letter from a citizen」

若者が集う賑わいある町へ

しげつね ゆうね
重常 結音 (高屋町)

私は高屋町に住んでいる高校3年生です。高屋町を含め、東広島市は祭りなどのイベントが多く地域の人との繋がりが深いと感じています。一方で、市内中心部など人が集まりやすい場所を除いて、そのようなイベントとがない限り、若者同士が交流できる機会や場所が少ないと感じています。

実際、私が住んでいる高屋町には、高校や大学があり若者が多く、近年は住宅街やマンションが増えてきました。しかし、若者が遊び交流できるような場所は一向に増えません。友人とも話をしていますが、このままでは町を出ていく若者が増えていくばかりです。

若者を含め、イベントがなくても全年代の人々が交流でき、長く住み続けたいと思えるまちづくりを期待します。

令和6年第4回定例会の日程

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	本会議 (初日)	常任委員会 (議案審査)				
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 (一般質問)					
15	16	17	18	19	20	21
	常任委員会 (議案審査)			本会議 (議案審議)	予備日	
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■委本会議・委員会等の中継映像

本会議や常任委員会、全員協議会等の様子はインターネット (YouTube) でライブ配信しています。市議会ホームページからアクセスできますので、ぜひご利用ください。

また、本会議はご覧いただきやすいよう編集した録画映像を市議会ホームページで配信しているほか、KAMONケーブルテレビでも録画映像を放送しています。

■本会議・委員会の傍聴、本会議の手話通訳・託児

傍聴は当日議会事務局で受け付けます。

本会議の手話通訳・託児を希望される方は、希望日の7日前までに議会事務局にお申込みください。

ご不明な点は議会事務局 (082) 420-0966へお問い合わせください。

東広島市議会

検索





のりとやまはちまん
祝詞山八幡神社例大祭

安芸津町風早の祝詞山八幡神社で毎年10月に行われる例大祭の「神賑行列」は、東広島市重要無形民俗文化財に指定されています。総代の家を出発した100人を超える行列が、奴振りと呼ばれる伝統的な槍の演技を披露しながら神社へ向かいます。社殿を3度回ってから御旅所へ向かい、そこで祭典を行います。

この行列は江戸時代中期にはすでに行われており、風早の大切な伝統文化として現在まで絶えることなく受け継がれています。

市議会だより

■発行／東広島市議会
■編集／広報広聴委員会
〒739-8601
東広島市西条栄町8番29号
TEL.082-420-0966
FAX.082-424-9465
(議会事務局)

■ご意見ご感想をお寄せください
市議会だより・東広島市議会ホームページ
に関するご意見ご感想は、東広島市議会事務局(左記)までお寄せください。



<https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/shgikai/index.html>

Editor's postscript

編集後記

皆様の声をお聞かせください

今年は記録的な猛暑となりました。台風の大規模化も懸念されましたが、市内各地で無事お米の収穫を目にし、ほっとしているところですよ。

案されました。より安全で利用しやすい施設へ向けての議論が交わされたところでもあります。施設利用に当たったってのご意見があれば議会報告会等の際にお聞かせください。

第3回定例会では東広島運動公園の改修工事、フットサルコートの新設、高屋情報ハウジングの条例制定など、利用者も多く、皆様の関心の高い議案が提

広報広聴委員会委員

大下 博隆